

# 競 技 注 意 事 項

## 1. 規則について

本大会は2017年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。

## 2. 競技場使用上の注意

- 1) 競技場は全天候舗装であるので、スパイクは11本以内で長さは9mm以下とする。ただし、走高跳及びやり投の場合は12mm以下とする。
- 2) 観戦はスタンドで行い、大会本部付近や競技場内にはむやみに立ち入らないこと。また、集団応援は邪魔にならないように行う事。ただしホームスタンドでは認めない。
- 3) カメラやビデオなどでの撮影において、許可のないものについては禁止とする。学生については原則として所属する大学のジャージを着用して撮影すること。学生以外で撮影を希望する場合は大会本部へ申し出を行い、撮影許可証を着用し撮影すること。

## 3. ナンバーカードについて

- 1) ナンバーカードは学連登録時に配布している正規のもの2枚を胸部と背部に確実につけること。ただし、跳躍競技の場合はどちらか一方でもよい。
- 2) トラック競技の場合は腰ナンバーカードをつける。腰ナンバーカードは招集所で受け取り、レース終了後フィニッシュ付近で係員に返却すること。
- 3) 男女10000mWは、招集時に配布するナンバーカードを胸につけること。

## 4. 招集について

- 1) 競技者招集所は、メインスタンド北側器具庫前(100mスタート付近)に設ける。
- 2) 招集時間は下表の通りとする。

		招集開始	招集完了
トラック	競技開始	40分前	20分前
フィールド(棒高跳除く)	競技開始	60分前	40分前
棒高跳	競技開始	70分前	50分前

- 3) 但し100m・200m・400m・800mの予選については下表の通りとするので注意すること。

100m・200m・400m・800m 予選		
組	競技開始時間を基準	
	開始	完了
1~7	40分前	20分前
8~14	30分前	10分前
15~21	20分前	0分後
22~	10分前	10分後

- 4) 代理人による最終点呼は認めない。ただし、競技者が他の種目に出場中の場合、代理人は競技者が競技中である旨を必ず競技者係に申し出ること。
- 5) リレーオーダー用紙は主催者が用意し、事前に配布したものを使用する。リレー種目に出場するチームはオーダーの変更の有無にかかわらず、その都度オーダー用紙(大会本部に用意)に記入して競技者係に提出すること。(メンバーについては競技規則第170条を参照のこと。オーダー用紙の提出は、第1組目の招集開始1時間前までに競技者係に提出すること。
- 6) 招集完了時間に少しでも遅れると、当該種目を棄権したものととして処理するので十分注意すること。

## 5. 棄権について

- 1) 当日やむなく棄権する場合は、棄権届（大会本部に用意）に必要事項を記入し、捺印（サインでも可）したものを提出すること。
- 2) 棄権届けを提出せずに棄権した場合は、その競技者の本大会での他種目への出場を認めず、今後の大会等にペナルティを与える場合がある。また、招集に遅れた場合もこれに準ずるので十分注意すること。

## 6. 用器具について

競技に使用する用器具は、主催者が用意したものを使用しなければならない。但し、棒高跳用ポール及び投てき物は個人所有のものを使用することができるが、投てき物は検査を受け、許可されたものとする。なお、検定を受けて許可を得た投てき物は、主催者借り上げの共有物とする。検定は、競技開始60分前から、招集所にて行う。

## 7. ウォームアップについて

開門から競技開始20分前まではトラックを全面使用できる。ただし、競技の準備に支障の出ないように行うこと。また、場内放送や競技役員の指示があった場合は、それに従うこと。

## 8. 競技について

- 1) トラック競技の時計は、すべて電気計時（1/100 秒）を用いて行う。
- 2) 以下の種目については、スタート後一定時間を経過して残り1周に達していない場合、または競技日程に支障が出ると判断した場合、審判長の指示により競技を中止させることがある。
  - ・男子10000mW…スタート後53分、女子10000mW…スタート後58分
  - ・男子10000m…スタート後37分、女子10000m…スタート後42分
- 3) 跳躍競技（高さで順位を決定する競技）のバーの上げ方は下記の通りとする。

種目	練習A	練習B	練習C	1	2	3	4	5
男子走高跳1組	1m60	1m80	—	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85
男子走高跳2組	1m80	2m00	—	1m85	1m90	1m95	1m98	2m01
女子走高跳	1m40	1m60	—	1m45	1m50	1m55	1m60	1m63
男子棒高跳	4m00	4m50	5m00	4m00	4m20	4m40	4m50	以後10cm
女子棒高跳	2m80	3m00	3m30	2m80	3m00	3m20	3m30	以後10cm
			<b>6</b>	<b>7</b>	<b>8</b>	<b>9</b>	<b>10</b>	
			1m90	1m95	1m98	2m01	2m04	以後3cm
			2m04	2m07	2m10	2m13	2m16	以後3cm
			1m66	1m69	1m72	1m75	1m77	以後2cm

- ※1. 第1位決定試技の際のバーの上げ下げは、走高跳は2cm、棒高跳は5cmとする。
- ※2. 第1位が決まった後にバーを上げる場合、当事者は該当審判員または審判長に希望の高さを申し出てから高さを決定する。
- ※3. 天候等に応じて審判長の判断で開始の高さを変更する場合がある。
- ※4. 天候に応じて上記のバーの上げ方を該当審判員または審判長の判断で変更する場合がある。

### 4) 三段跳について

- ① 三段跳の踏切位置は男子12m、女子10mとする。※三段跳の踏切位置は該当審判員または審判長の判断で変更する場合がある。
- ② 競技運営を円滑に行うため、2組に分ける。男子三段跳については1組の競技開始時間を13時、2組を14時30分とする。招集時間は各組の競技開始時間に合わせて行う。

5) 走幅跳について

- ① 男子走幅跳は、スタンド側ピットをAピットとし、トラック側ピットをBピットとする。
- ② 競技運営を円滑に行うため、2組に分ける。男子走幅跳については1組の競技開始時間を12時30分、2組の競技開始時間を14時30分とする。招集時間は各組の競技開始時間に合わせて行う。

6) 男子走高跳について

メインスタンド側をAピットとし、バックスタンド側をBピットとする。

7) 棒高跳の公式練習について

公式練習の回数は助走練習1回、バーをかけた練習を2回までに限る。また、公式練習は試技順に行うこと。

8) 投てき種目について

投てき種目は競技時間短縮のため、3回目までの試技終了後、最も記録の良い試技のみを計測する。4回目以降も同様に、6回目までの試技終了後、最も良い試技を計測する。

また、競技運営上、以下の長さに達していない試技は計測しない。

男子砲丸投	9m90
男子円盤投	28m00
男子ハンマー投	40m00
男子やり投	45m00

9) 長距離種目の周回数の記録について

男子10000m及び男女5000mは各大学が出走者数に応じて1~4名まで派遣すること。

9. 給水について

5000m、10000mおよび競歩については天候に応じて水とスポンジを用意し、バックストレート側に給水所を設置する。給水後のコップ、スポンジについて他の競技者の妨害になるような捨て方は厳禁とする。

10. 表彰について

- 1) 表彰は1位から3位までの入賞者について行う。該当者は成績発表後、ただちに受賞者集合場所に待機し、表彰係の指示に従うこと。
- 2) 表彰式の際の服装は、公式Tシャツあるいはジャージを着用する。下は公式ジャージを着用する。
- 3) 閉会式において、1年生の出場者の中から男女若干名につき新人賞の発表、及び表彰を行う。

11. 抗議について

競技会進行中に起きた競技者の行為、または順位に関する抗議は、規則第146条に基づきその競技者あるいはチームの代表者により結果が正式発表されてから30分以内（同一日に次ラウンドのある場合は15分以内）に、担当総務員を通じて口頭で審判長になされなければならない。審判長の裁定を不服とし、さらに抗議をする場合は抗議申立書と委託金10,000円を添えて上訴する。この委託金は、抗議が受け入れられなかった場合は没収される。この間の事務的処理は担当総務員が行い、抗議者は大会本部で待機する。

## 1.2. 緊急看護について

競技中の事故やケガについては医務室において応急処置を行うが、その後の治療は本人の負担とし、事故の結果について、本連盟は一切責任を負わないものとする。

## 1.3. その他

### 1) 公開トレーナーについて

本大会では、トレーナーが医務室において競技者のコンディショニングと応急処置を行う。出場者は誰でも利用することができる。

### 2) 競技会において競技者はビデオ、カセットレコーダー、ラジオ、音楽機器、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内へ持ち込んではいならない。

### 3) 競技運営上、多少の競技日程変更がありうる。

### 4) 盗難・紛失について

盗難・紛失については、主催者は一切責任を負わない。受領した遺失物については学連本部で一時保管するが、大会終了後は競技場事務局にて1ヶ月間保管し、申し出のないものについては処分する。本連盟までメールにて問い合わせること。

### 5) 競技場の開門時間および閉門時間について

開・閉門時間は以下のように設定する。それぞれ時間は厳守するものとし、違反した場合は厳重に処罰する。

	開 門	閉 門
第1日目 [10月13日 (金)]	7 : 30	19 : 00
第2日目 [10月14日 (土)]	7 : 30	19 : 30

### 6) 競技場の清掃について

各大学で出たゴミは各自で持ち帰り、使用した場所は清掃して帰ること。また、競技終了後の清掃については、担当大学は一日目は至学館大学、二日目は愛知教育大学とする。

### 7) テントの設営については芝生広場以外は認めるが、決して周囲の迷惑にならないようにすること。またこれに関しても、競技役員の指示があった場合は、それに従うこと。

以上の事柄および本大会の規則については、大会役員の協議が最終決定権を持ち、これは変更になる場合があるので、アナウンスや掲示板に注意すること。また、学生競技者としてのマナーに逸脱するような行為があった場合は、処罰を与える。